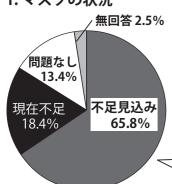
保険医協会では3月13日~17日に会員医療機関に対して新型コロナウイルス 感染症拡大の影響について、緊急アンケートを実施。913医療機関の内403医療 機関からの回答があり、調査の結果、マスク・手指消毒液ともに8割以上の医療機 関が不足と回答、その他消毒用エタノールや衛生材料の不足等、深刻な状況が明ら

かとなった。このアンケート結果は3月 25日に行った長野県への緊急要請と懇 談にて使用された。(1面に掲載)

なお、具体例や自由意見は多数寄せられたため、一部抜粋で掲載している。調査結果全文については、県保険医協会ホームページを参照されたい。

回答があった医療機関の内訳		
分類	機関数	割合
病院	23	5.7%
医科診療所	243	60.3%
歯科診療所	137	34.0%
合計	403	

1. マスクの状況



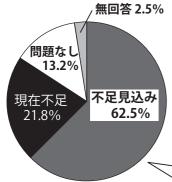
	医科診療所	歯科診療所	病院
回答	割合	割合	割合
不足見込み	64.6%	67.9%	65.2%
現在不足	22.6%	10.9%	17.4%
問題なし	9.1%	20.4%	17.4%
無回答	3.7%	0.7%	0.0%

↑全体では 84.2%の医療機関でマスクが不足。

在庫状況については、2週間以内になくなる見込みの医療機関は、医科診療所で36.6%、歯科診療所で17.4%、病院で34.8%。4週間以内に在庫がなくなる見込みと回答した医療機関は全体で6割を超えた。

マスク不足のため 1 人 1 週間使っているとの回答や、すでに在庫がなくなりサージカルマスクを付けずに入院患者対応中と回答した医療機関もあり、切迫した声が上がった。

2. 手指消毒液の状況



	医科診療所	歯科診療所	病院
回答	割合	割合	割合
不足見込み	58.4%	68.6%	65.2%
現在不足	25.9%	15.3%	21.7%
問題なし	12.3%	14.6%	13.0%
無回答	3.3%	1.5%	0.0%

-全体では84.3%の医療機関で手指消毒液が不足。

在庫状況については、2週間以内になくなる見込みの医療機関は、医科診療所で37.4%、歯科診療所で21.9%、病院で47.8%。4週間以内に在庫がなくなる見込みと回答した医療機関は全体で約7割にも及び、マスクより消毒液の在庫不足が深刻という結果となった。

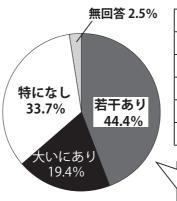
環境整備用の除菌剤の使用量が増えたにも関わらず入荷見込みがない、内視鏡洗 浄用や手術室で使用するアルコールが手に入らないという声も多くみられた。

その他不足する医療用品(自由記載)

〔〕は回答数。

感染防止	グローブ〔57〕、ガウン〔30〕、シールド・ゴーグル〔21〕、 N-95 マスク〔11〕、ディスポエプロン(医・歯)〔7・7〕、キャッ プ〔5〕、シューズカバー〔1〕ディスポ枕カバー〔1〕、防護具 全て〔2〕
医療材料・器材	ガーゼ〔13〕、体温計(非接触)〔5〕、カテーテル〔2〕、インフルエンザ検査キット〔1〕
日用品	ペーパータオル〔19〕、紙コップ〔2〕、紙トレー〔1〕
消毒用品	消毒用エタノール・アルコール〔53〕、アルコール綿〔13〕、除 菌ワイプ〔13〕、次亜塩素酸ナトリウム〔2〕、空間除菌剤〔1〕

3. 通常の診療への影響



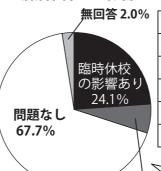
	医科診療所	歯科診療所	病院
回答	割合	割合	割合
若干あり	42.8%	46.0%	52.2%
大いにあり	24.3%	10.9%	17.4%
特になし	30.5%	40.9%	26.1%
無回答	2.5%	2.2%	4.3%

全体では 63.8%の医療機関が通常の診療への 影響があると回答。

具体例

- ・ 感染を恐れた受診抑制。患者減少。
- 施設からの診療キャンセル。
- ・電話での問い合わせが多くなった。
- ・長期投薬・電話での投薬が増えた。
- ・院内の消毒作業が増え、手間と消毒液の消費量が増えた。
- ・風邪症状、発熱等患者の動線確保が困難。連絡なしで来院する患者さんへの対応。

4. 勤務体制への影響



	医科診療所	歯科診療所	病院
回答	割合	割合	割合
臨時休校の影響	23.0%	21.2%	52.2%
その他影響あり	6.6%	5.8%	4.3%
問題なし	68.7%	70.8%	39.1%
無回答	1.6%	2.2%	4.3%

「全体では 30.3%の医療機関が勤務体制への | 影響があると回答。

その他影響あり 6.2%

具体例

- ・子どものいる従業員の出勤が難しく、休暇取得・時短が増えた、子連れ出勤した。
- ・もともと少ない職員体制で、欠勤や時短による他の職員へのしわ寄せが出ている。
- ・スタッフの健康面が心配。休みが取れない。
- ・感染者が自院で見つかった場合の医療機関の休診が懸念される。
- ・特別休暇としているが、医療機関の持ち出しになっている。
- ・感染対策が重要視され、勤務時間外に環境整備が必要になった。
- ・職員が突然離職し業務負担に影響が出ている。

5. 県や国に対する要望やその他自由意見

- ・マスクや衛生材料の在庫、入荷見込み等を教えて欲しい。
- ・現在の帰国者・接触者外来を拡大したような「発熱外来」「新型コロナ外来」「有 症状者外来」を開設し、そこで集中的に医療資源を投入して対応していくことを検 討して欲しい。
- ・保健所の対応が悪く、発熱・咳等で患者が保健所に連絡しても、とりあえずかかりつけ医に行くように言われてしまう。電話だけで判断できるわけもなくかかりつけ医に丸投げしている。保健所は PCR 検査をしたくない印象を受ける。
- ・かかりつけ医などの医療機関で一次的なスクリーニングをさせるのであれば、内 科診療所に早く N-95 マスク、フェイスシールド等が届くように対応して欲しい。
- ・当番医の日に不特定多数の患者さんが来院するので不安を感じる。
- ・政治的恣意的な検査のハードルが高いため、実態が分からず、不安を煽る。
- ・陽性の人が出たからと言って2週間の休業は困る。
- ・地域の皆さんに対して分かりやすい説明をして欲しい。①どこで PCR 検査を受けられるのか。②まず電話なのか。直接行っていいのか。③ PCR 検査ができないかかりつけ医の役割等について。
- ・感染者が出た時、その後医療機関の休業や濃厚接触者に対する処置の方法、検査 手続き、休暇手続き等、具体的な対応方法を教えて欲しい。
- ・患者が発生した医療機関だと誤った情報で風評被害を受けた。
- ・スタッフが揃わないため、診療報酬改定を3ヵ月先延ばしにして欲しい。
- ・コロナウイルス感染症かどうか分からない患者を最初に診療するのは、診療所であるにも関わらず、現場では PCR 検査ができるのは防護服等が揃っている病院に限られ、マスク等の感染防止材料が「過去の納入実績」によって割り当てられている。病院勤務のスタッフは守られますが、一次医療の我々は守られません。
- ・歯科治療において、飛沫を浴びることは避けられない。歯科にも目を向けて欲しい。